

2026年5月20日
株式会社SVPジャパン

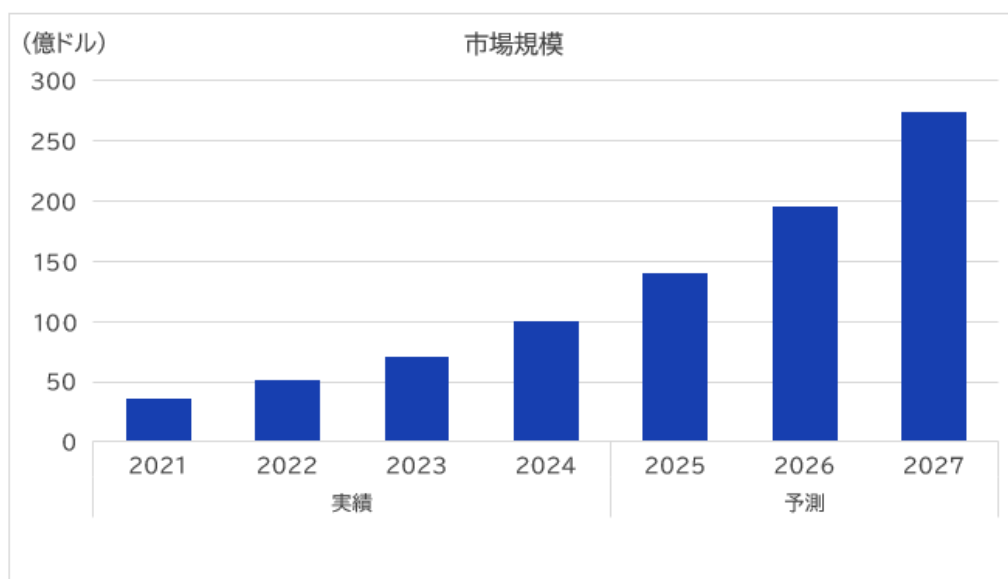
SVP注目市場分析 「メタバース・産業デジタルツイン」を公開

～現実を仮想で再現し産業運用を最適化する次世代基盤へ～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「メタバース・産業デジタルツイン-世界市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

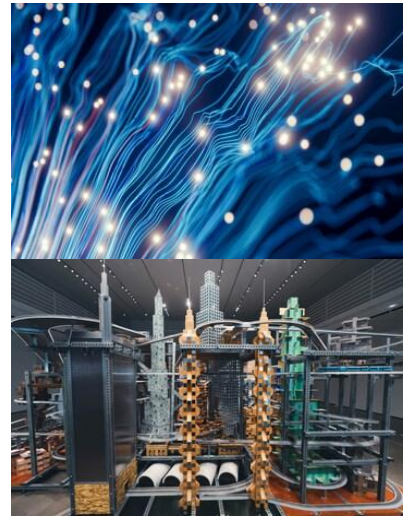
■ 産業メタバースの世界市場



産業メタバース市場は、メタバース技術とデジタルツイン技術が融合した産業向けデジタル空間として、世界規模で急速な拡大を続けている。製造、建設、エネルギー、都市インフラ、物流など幅広い産業分野での導入が加速しており、今後はエンターテインメント用途のメタバースを超え、産業領域におけるデジタルツイン連携型の「産業メタバース」が市場拡大の中心的なドライバーになると予測されている。市場を構成する要素はデジタルツインソフトウェア、AR・VR技術、AIと機械学習、IoTセンサー、クラウドインフラ、5G通信技術など多岐にわたり、これらの技術が統合されることで新たな産業基盤が形成され、今後、世界市場は高い成長率を維持しながら、拡大基調が続くと見込まれる。

■ 産業メタバースの市場概況

現在、市場は概念実証（PoC）段階から実用化フェーズへと急速に移行しており、企業は単なる実験的導入にとどまらず、明確な投資対効果（ROI）を伴う運用改善ツールとして本格的な導入を進めている。AI・IoT・5G・クラウドコンピューティングなど基盤技術の急速な進化と、企業のデジタル変革（DX）ニーズの高まりが市場成長を力強く後押ししている。用途別では製造業が最大の適用分野であり、生産ラインの最適化や予知保全への活用が拡大している。自動車・輸送、都市計画、ヘルスケアなどの分野でも導入が進んでおり、市場シェアではNVIDIA、Siemens、Dassault Systèmesなどが上位を占め、半導体・クラウド・PLM・シミュレーションなど、複数の技術領域の企業が参入するエコシステム型の競争構造が形成されている。



■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造
- VII. 課題
- VIII. 日本市場の動向



←レポート全編を見る クリック
※本サービスのご利用は、
SVP会員様限定でございます。

■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。
購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購読いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ



■ 次回のテーマ

6月のテーマは「グラフェン・メタマテリアル」と「自己修復材料・形状記憶ポリマー」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com